

ミャンマー事務所開設

環境産業ニーズを調査



ットホームとして活用
していく方針だ。

駐在事務所は、旧首都であり経済中心地であるヤンゴン市の中心部に立地。国外企業の土地購入などに制限があるため、有力企業との合弁で設立した。常

RPF製造や廃棄物処理、機械設備設置工事業を中心に事業展開

するアイデックス（大阪府摂津市、井出保社長、☎072・650

・1988）は昨年12月、ミャンマー・ヤン

ゴン市に現地駐在事務所を開設した。関係する環境産業の動向やニ

ーズ調査など、同国における情報集約のプ

ラ

未開拓市場として各国からの注目度は高い。

日本政府もODAとしてヤンゴン近郊地域の工業団地インフラ整備を請け負うなど、積極的に参入する姿勢だ。

同社井出保社長は「社会システムが未整備な点もあって、まだ進出には早いという感触はある。しかし、いち早く現地に入り、日本の最先端のリサイクル技術を紹介する意義も感じている。慎重に動向を見ながら、同国での事業展開の足がかりとしていきたい」と語った。

後、アジア最後の経済

ミャンマーは民主化

検討、今後参入する日系企業との協力体制の構築を図っていく。

古紙リサイクル、金属くずリサイクルや一般廃棄物収運システムの

向やビジネス可能性などを調査。廃棄物処理、

置いて、同国の経済動

向やビジネス可能性な

向やビジネス可能性な

向やビジネス可能性な

向やビジネス可能性な

向やビジネス可能性な